

施策分析シート（令和2年度）

No1

施策名	活気あふれる商店街づくり	施策No	05-04	部課名	産業経済部産業振興課
関連部課名		課長名	秦野	内線	445

行政評価 事業体系	分野	III	産業革新都市
	政策	05	活力ある地域経済づくり

目的	区内商店街で地域住民が日常の買い物をするとともに、商店主等との会話が交わされ人の輪が広がることにより、商店街全体の活性化につなげる。
----	--

指 標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			29年度	30年度	元年度			
	①	買い物利便性	3.41	3.44	3.52	お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？		
	②							
	③							
④								
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	商店街数（団体）	41	41	40	39	41	荒川区商店街連合会加盟商店街数
	②	イベント推進事業件数（件）	31	29	30	17	40	商店街イベントの年間件数
	③							
	④							
	⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目					30年度	元年度	差額	勘定科目					30年度	元年度	差額		
	行政費用	給与関係費	23,470	39,691	16,221	行政収入	地方税	0	0	0	国庫支出金	0	237,922	237,922				
		物件費	10,459	233,704	223,245		都支出金	19,226	17,750	▲ 1,476								
		維持補修費	11,290	0	▲ 11,290		分担金及び負担金	0	0	0								
		扶助費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0								
		補助費等	74,914	91,396	16,482		その他	0	0	0								
		減価償却費	189	189	0		行政収入合計(a)	19,226	255,672	236,446								
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 103,826	▲ 115,224	▲ 11,398								
		賞与・退職給与引当金繰入額	2,730	5,916	3,186		金融収支差額(d)	0	0	0								
		その他行政費用	0	0	0		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 103,826	▲ 115,224	▲ 11,398								
行政費用合計(b)		123,052	370,896	247,844	特別収入(f)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 103,826	▲ 115,224	▲ 11,398				
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 103,826	▲ 115,224	▲ 11,398				
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 103,826	▲ 115,224	▲ 11,398				
貸借対照表	勘定科目					30年度	元年度	差額	勘定科目					30年度	元年度	差額		
	流動資産	収入未済	1,126	1,126	0	流動負債	還付未済金	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0			
		不納欠損引当金	0	0	0		賞与引当金	1,089	1,812	723								
		その他の流動資産	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0								
		有形固定資産	91,553	91,364	▲ 189		固定負債	8,293	16,269	7,976								
		土地	86,760	86,760	0		特別区債	0	0	0								
	固定資産	建物	5,740	5,740	0	固定負債	退職給与引当金	8,293	16,269	7,976								
		建物減価償却累計額	▲ 947	▲ 1,137	▲ 190		その他の固定負債	0	0	0								
		工作物等	0	0	0		負債の部合計	9,382	18,081	8,699								
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		正味財産	83,297	74,409	▲ 8,888								
		無形固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	83,297	74,409	▲ 8,888								
		建設仮勘定	0	0	0		負債及び正味財産の部合計	92,679	92,490	▲ 189								
		その他の固定資産	0	0	0													
		資産の部合計	92,679	92,490	▲ 189													
		勘定科目					30年度	元年度	差額	勘定科目					30年度	元年度	差額	
		流動資産	収入未済	1,126	1,126		0	流動負債	還付未済金	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0	
	不納欠損引当金		0	0	0	賞与引当金	1,089		1,812	723								
	その他の流動資産		0	0	0	その他の流動負債	0		0	0								
	有形固定資産		91,553	91,364	▲ 189	固定負債	8,293		16,269	7,976								
	土地		86,760	86,760	0	特別区債	0		0	0								
	建物		5,740	5,740	0	退職給与引当金	8,293		16,269	7,976								
	建物減価償却累計額		▲ 947	▲ 1,137	▲ 190	その他の固定負債	0		0	0								
工作物等	0		0	0	負債の部合計	9,382	18,081		8,699									
工作物等減価償却累計額	0		0	0	正味財産	83,297	74,409		▲ 8,888									
無形固定資産	0		0	0	正味財産の部合計	83,297	74,409		▲ 8,888									
建設仮勘定	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	92,679	92,490	▲ 189											
その他の固定資産	0	0	0															
資産の部合計	92,679	92,490	▲ 189															

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として、補助費等の割合が高くなっているのは、商店街活性化総合支援事業（イベント推進事業、活性化事業）、商店街連合会補助、日暮里織維街活性化支援事業（ファッションショー）等における補助金支出によるものである。また、物件費は国の消費税増税対策事業（あら坊商品券）の実施により増加している。
○行政収入として、国庫支出金は国の消費税増税対策事業（あら坊商品券）の実施に伴う収入である。
○貸借対照表に計上されている有形固定資産は、南千住東口商業施設に関するものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○荒川区商店街連合会加盟会員数は減少傾向にあり、過去10年間で約22%減少している。また、平成30年度に実施した荒川区商業事業者訪問支援事業調査によると、商店街加盟商業者の約64%が「過去5年間で売上高が減少した」と回答している。 ○商店街は、区民の日常生活を支える存在であるとともに、地域の人々の交流の場としての役割を担っているが、商店街の利用減少に伴い、住民と地域コミュニティ、商店街との触れ合いの機会が減少しつつある。 ○平成26年度に実施した荒川区商業事業者訪問支援事業調査によると、商店街で実施しているイベント等への参加率について、「消極的」、「協力したいが参加できない」と回答した商業者が約65%となっている。店主の高齢化や従業員の減少等により、イベント実施が困難な商店街もみられる。
課題	○大型店の増加やインターネット通販の普及等により、商店街での買物が減少傾向にあるため、商店街ならではの魅力を強く発信する必要がある。 ○住民と商店街とのつながりが希薄化する中、本来商店街が持っている地域コミュニティの核としての機能を十分に発揮できるよう支援する必要がある。 ○商店街で実施するイベントの減少は、商店街及び地域のにぎわいの低下につながるため、積極的な商店街活動や新たな商店街事業の展開ができるよう支援する必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、商店街への来訪者が減少しているほか、商店街イベント等の実施が困難となっている。
今後の方向性	○商店街活性化に向けた継続的な支援として、東京都と連携しながら、商店街の施設整備やイベント事業等のハード面、ソフト面の両方から支援し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止しつつ、商店街への来訪者の増加や地域のにぎわい創出につなげていく。 ○にぎわいコーディネータ・LANPコーディネータ（※1）の派遣や各種支援の充実等に取り組むことで、商店街の組織力強化や商店街の活性化につながるよう、きめ細やかなサポートに取り組んでいく。 ○引き続き、日暮里ファッションショーへの支援を継続するとともに、令和2年度に開設予定の「荒川区立日暮里地域活性化施設」等を活用することにより、観光スポットとしても有名な日暮里繊維街の魅力を強く発信し、他地域への来街者を荒川区へ呼び込む流れを構築する。 （※1）中小企業診断士等の資格を持ち、商店街振興や地域のイベントの企画・実施の経験を有する専門家が、商店街振興策や個店の経営改善等に関する相談業務及び各種補助制度の案内を行う。

施策の分類		分類についての説明・意見等
2年度	3年度	
重点的に推進	重点的に推進	区内の商店街を支援し、その活性化を図ることは、地域の活性化及び区民生活の安定に向けて重要であるため、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
商店街活性化総合支援事業 （活性化事業）	06-01-13	9,476	3,772	7,964	1,310	重点的に推進	重点的に推進	意欲とやる気のある商店街等が、活性化を目的に自主的に取組む事業を区が支援することにより、区内の商業環境や地域の発展を図る事業であるため、重点的に推進する。
商店街活性化総合支援事業 （イベント推進事業）	06-01-14	23,261	31,828	19,230	26,904	推進	推進	意欲とやる気のある商店街等が開催するイベント事業を支援することにより、商店街の賑わい創出及び商店街と消費者の交流を図ることが出来る事業であるため、推進する。
商店街活性化総合支援事業 （特売奨励事業）	06-01-15	5,104	5,392	4,600	4,900	推進	推進	区内の多くの商店街で一斉に開催される特売事業を支援することにより、消費生活の安定及び区内商業の発展を図ることができる事業であるため、推進する。
産業活性化事業	06-01-16	8,286	13,207	7,278	12,222	重点的に推進	重点的に推進	まちの賑わいを創出するために、専門家によるアドバイスや各種補助を行う事業であるため、重点的に推進する。
商店街ルネッサンス推進本部事業	06-01-17	14,822	2,935	12,618	580	重点的に推進	重点的に推進	商店街ルネッサンス推進事業は、商店街の活力を取り戻すための庁内の横断的な取り組みであるため、重点的に推進する。
商店街空き店舗活用推進事業	06-01-18	729	787	225	295	推進	推進	商店街の空き店舗の解消を図るため、商店街活性化総合支援事業の活用を含めた支援を推進する。
商店街連携支援事業	06-01-20	540	510	36	18	継続	継続	複数の商店街の連携を支援することで、新たな事業展開が期待できることから、継続して実施する。
らく楽商店街モデル事業	06-01-22	7,431	7,982	6,423	6,997	継続	継続	商店街の意向を踏まえながら、事業内容を一部見直し、継続実施していく。
商店街連合会補助（プレミアム付き区内共通お買い物券）	06-01-24	18,627	26,902	16,612	24,933	推進	推進	区内商店街等で組織された団体の事業を支援することは、商店街の活性化及び区民生活の安定にとって重要であるため、推進する。
日暮里繊維街活性化支援事業（ファッションショー）	06-01-25	21,614	21,905	12,545	13,534	重点的に推進	重点的に推進	全国有数の繊維関連品の集積地である日暮里を「繊維の街・ファッションの街」として全国・世界にPRし、その活性化を図るため、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
大型店対策事業	06-01-26	1,008	985	—	—	推進	推進	大規模商業施設の出店等による影響を事前に把握し、地域環境の保全を図る事業であるため、推進する。
商業事業者訪問支援事業	06-01-37	12,154	0	9,131	—	休止・完了	休止・完了	本事業で得た基礎データを分析し、商業・サービス事業者に対する実効性ある支援を継続して行う。次回は、令和4年度に実施予定であるため、令和2年度と令和3年度は休止する。
荒川区プレミアム付商品券事業（あら坊商品券）	06-01-41	0	254,690	—	234,403	休止・完了	休止・完了	令和元年度限りの事業であるため、完了する。
合 計		123,052	370,895	96,662	326,096			